

科目名	曜日・校時	担当教員名	ページ
中級Ⅰ 会話	火 1	日暮	… 1
中級Ⅰ 作文	火 2	上谷	… 2
中級Ⅰ 読解	月 3・4	郭	… 3
中級Ⅰ 聴解	木 3	古本	… 4
中級Ⅰ 漢字	木 2	渡邊	… 5
中級Ⅱ 会話	火 3	古本	… 6
中級Ⅱ 作文	金 1	郭	… 7
中級Ⅱ 読解	木 3・4	日暮	… 8
中級Ⅱ 聴解	水 1	小谷	… 9
中級Ⅱ 漢字	金 2	川崎	… 10
【JLCP】中級総合A	月 5	古本	… 11
上級Ⅰ 読解	金 1・2	松尾	… 12
上級Ⅰ 総合	木 3・4	野田	… 13
上級Ⅱ 総合A	金 1・2	多田	… 14
上級Ⅱ 総合B	月 1・2	安田	… 15
【JLCP】日本探究(日本の地理・歴史・政治)	水 1	郭	… 16
【JLCP】日本探究(日本の外交・安全保障)	火 3	清田	… 17
【JLCP】日本探究(現代日本社会の諸相)	木 1	日暮	… 18
【JLCP】日本探究(メディアで学ぶ日本の文化と社会)	金 3	永井	… 19
【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅰ	火 5	古本	… 20
【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅰ	火 5	郭	… 21
【JLCP】日本の伝統文化	水 4	(主)古本	… 22
【JLCP】茶道	水 2	高木	… 23
【JLCP】日本文学A	木 5	小橋	… 24
【JLCP】日本のアニメ	金 5	山田	… 25
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて			… 26

2024年度 後期	曜日・校時	火曜日・1校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅰ会話			
担当教員名	日暮 康晴		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 日本語の会話の中で使われる表現を理解し、適切に使うことができる。 (2) 日本語の会話の中で自分の意思を適切に表現し、相手に伝えることができる。 (3) 相手の発話に対して適切な反応や応答を用い、コミュニケーションを続けることができる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
第1週	10/1	オリエンテーション・自己紹介・Part 0 音や形の変化, 男ことば・女ことば		
第2週	10/8	Part 1 話しを始める Unit 1・Unit 2		
第3週	10/15	Part 1 話しを始める Unit 2(続)・Unit 3		
第4週	10/22	Part 1 話しを始める Unit 4・Unit 5		
第5週	10/29	Part 2 話しを続ける Unit 6・Unit 7		
第6週	11/12	Part 2 話しを続ける Unit 8		
第7週	11/19	Part 2 話しを続ける Unit 9		
第8週	11/26	実力チェック1 (Part 1・2), フィードバック・振り返り		
第9週	12/3	Part 3 話しを変える Unit 10		
第10週	12/10	Part 3 話しを変える Unit 11		
第11週	12/17	Part 4 話しを変える Unit 12		
第12週	12/24	Part 4 話しを変える Unit 13		
第13週	1/7	Part 4 話しを変える Unit 14		
第14週	1/14	Part 4 話しを変える Unit 15		
第15週	1/28	実力チェック2 (Part 1～4), フィードバック・振り返り		
教科書・教材等	『にほんご会話上手!』 (岩田夏穂・初鹿野阿れ, アスク出版, ISBN=978-4-87217-824-1, 1980円)			
成績評価の方法・基準等	(1) 実力チェック:60%(1:30%, 2:30%) (2) 授業への参加度:30% (3) 宿題:10% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	火曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅰ作文			
担当教員名	上谷 あゆみ	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	自分自身や身の回りのことについて(1)ある程度まとまりのある長い文章が書けるようになること,(2)ある程度豊かな表現を用いて内容がある文章が書けるようになること,(3)相手に伝わるわかりやすい文章が書けるようになることを目標としています。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
(1) 予習:次に授業する課のモデル文を読み,分からない単語は 授業前までに調べておくこと。				
(2) 宿題:授業内で最後まで作文が書けなかった場合は,次回の授業前までに完成し,必ず提出すること。				
第1週	10/1	オリエンテーション, 1課 食事		
第2週	10/8	2課 健康		
第3週	10/15	3課 ○年後の自分		
第4週	10/22	4課 休みの日の思い出		
第5週	10/29	5課 もし動物になるなら		
第6週	11/12	6課 苦手なもの・こと		
第7週	11/19	中間課題		
第8週	11/26	9課 自分の名前		
第9週	12/3	10課 尊敬する人		
第10週	12/10	9課, 10課の清書		
第11週	12/17	11課 おすすめ		
第12週	12/24	12課 好きな映画・アニメ・ドラマ		
第13週	1/7	11課, 12課の清書		
第14週	1/14	14課 日本で驚いたこと		
第15週	1/28	14課の清書		
第16週	2/4	期末課題		
教科書・教材等	『身近なテーマで伝える! にほんご作文トレーニング 初中級(A2-B1)』 (仙台国際日本語学校他, くらしお出版, ISBN=978-4874249826, 1980円)			
成績評価の方法・基準等	(1) 10回分の作文:50% (2) 授業への参加度:20% (3) 中間・期末課題:30% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は,成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により,テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが,日時の変更が認められた場合,点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	月曜日・3校時, 4校時	コマ数	2コマ																																																
授業科目	中級Ⅰ読解																																																			
担当教員名	郭 昱昕 (Guo Yuxin)		e-mail	授業初日に通知																																																
授業到達目標	JLPT N3レベルの文章を読み, アカデミックな読みができるようになること。																																																			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む																																																				
一週間に1課のペースで進みます。各課の「学習目標」の達成を目指しながら, 求められるスキル(技能)を身に付けるために, タスク(問題)を行っていきます。																																																				
<table><tr><td>第1週</td><td>9/30</td><td>オリエンテーション, 第1課 日本語で世界の友をつくる</td></tr><tr><td>第2週</td><td>10/7</td><td>第2課 勇気を出して</td></tr><tr><td>第3週</td><td>10/21</td><td>第3課 山道でクマに出会ったら</td></tr><tr><td>第4週</td><td>10/28</td><td>第4課 面接は何で決まる?</td></tr><tr><td>第5週</td><td>11/5(火)</td><td>第5課 「とりあえず」の力</td></tr><tr><td>第6週</td><td>11/11</td><td>第6課 異文化適応プロセス</td></tr><tr><td>第7週</td><td>11/18</td><td>第7課 頭が良くなる勉強法</td></tr><tr><td>第8週</td><td>11/25</td><td>第8課 擬態語の楽しさ, 奥深さ</td></tr><tr><td>第9週</td><td>12/2</td><td>第9課 13歳のハローワーク</td></tr><tr><td>第10週</td><td>12/9</td><td>第10課 間違いだらけの職業選び</td></tr><tr><td>第11週</td><td>12/16</td><td>第11課 自分は自分だからよい</td></tr><tr><td>第12週</td><td>12/23</td><td>第12課 希望のキャンプ</td></tr><tr><td>第13週</td><td>1/6</td><td>第13課 Iの励ましが</td></tr><tr><td>第14週</td><td>1/20</td><td>第14課 天を恨まず</td></tr><tr><td>第15週</td><td>1/27</td><td>JLPTの読解問題について</td></tr><tr><td>第16週</td><td>2/3</td><td>期末テスト</td></tr></table>					第1週	9/30	オリエンテーション, 第1課 日本語で世界の友をつくる	第2週	10/7	第2課 勇気を出して	第3週	10/21	第3課 山道でクマに出会ったら	第4週	10/28	第4課 面接は何で決まる?	第5週	11/5(火)	第5課 「とりあえず」の力	第6週	11/11	第6課 異文化適応プロセス	第7週	11/18	第7課 頭が良くなる勉強法	第8週	11/25	第8課 擬態語の楽しさ, 奥深さ	第9週	12/2	第9課 13歳のハローワーク	第10週	12/9	第10課 間違いだらけの職業選び	第11週	12/16	第11課 自分は自分だからよい	第12週	12/23	第12課 希望のキャンプ	第13週	1/6	第13課 Iの励ましが	第14週	1/20	第14課 天を恨まず	第15週	1/27	JLPTの読解問題について	第16週	2/3	期末テスト
第1週	9/30	オリエンテーション, 第1課 日本語で世界の友をつくる																																																		
第2週	10/7	第2課 勇気を出して																																																		
第3週	10/21	第3課 山道でクマに出会ったら																																																		
第4週	10/28	第4課 面接は何で決まる?																																																		
第5週	11/5(火)	第5課 「とりあえず」の力																																																		
第6週	11/11	第6課 異文化適応プロセス																																																		
第7週	11/18	第7課 頭が良くなる勉強法																																																		
第8週	11/25	第8課 擬態語の楽しさ, 奥深さ																																																		
第9週	12/2	第9課 13歳のハローワーク																																																		
第10週	12/9	第10課 間違いだらけの職業選び																																																		
第11週	12/16	第11課 自分は自分だからよい																																																		
第12週	12/23	第12課 希望のキャンプ																																																		
第13週	1/6	第13課 Iの励ましが																																																		
第14週	1/20	第14課 天を恨まず																																																		
第15週	1/27	JLPTの読解問題について																																																		
第16週	2/3	期末テスト																																																		
*必ず2コマ(3校時, 4校時)とも出ることが必須です。																																																				
教科書・教材等	『読む力 初中級』 (奥田純子(監修), くろしお出版, ISBN=978-4874248270, 1980円)																																																			
成績評価の方法・基準等	(1) 授業への参加度(出席・授業態度):40% (2) 日常課題・ミニレポート:30% (3) 期末テスト:30% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。																																																			
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp																																																			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。																																																			

2024年度 後期	曜日・校時	木曜日・3校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅰ聴解			
担当教員名	古本 裕美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	(1) 会話に参加したり会話をさらに進めたりするために、能動的に相手の話を聞くことができる。 (2) 相手の話を聞いた後に、自然な話しことばで使われる表現(e.g. ながっ。/食べちゃった。/あー、やっぱり。/おー、いいね。しようしよう。etc.)を使って適切な受け答えができる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
まず、家で予習をしてください。教室では、二週間で一つのユニットを勉強します。一週目は、パターンが同じ会話をいくつか聞きます。そして、それぞれの内容を理解します。どのように反応したらいいかも考えます。二週目は、相手の話を聞いてあいづちをうったり質問したりする練習をします。家で、表現を復習してください。ユニットが二つ終わるごとにクイズがあります。				
第1週	10/3	Course Orientation, Build-up of Information①「Unit 1 Takoyaki party」		
第2週	10/10	Build-up of Information① //		
第3週	10/17	Build-up of Information① //		
第4週	10/24	Build-up of Information②「Unit 2 What? You, too?」		
第5週	10/31	Build-up of Information② //		
第6週	11/7	Build-up of Information③「Unit 3 Staying healthy with smoothies」		クイズ①
第7週	11/14	Build-up of Information③ //		
第8週	11/21	予測聞き取り①「Unit 4 桜の下でランニング」		
第9週	11/28	予測聞き取り① //		
第10週	12/5	予測聞き取り②「Unit 5 なんかいいことあった?」		クイズ②
第11週	12/12	予測聞き取り② //		
第12週	12/19	背景情報活用①「Unit 6 これがおすすめ」		
第13週	1/9	背景情報活用① //		
第14週	1/16	背景情報活用②「Unit 7 温泉大好き」 or 「Unit 8 旅行に行っただけ」		クイズ③
第15週	1/23	背景情報活用② //		
教科書・教材等	『リアルな会話で学ぶ にほんご初中級リスニング Alive』 (鎌田 修(監修), ジャパンタイムズ出版, ISBN=978-4-7890-1801-2, 2860円)			
成績評価の方法・基準等	(1) 予習:15% (2) 復習:35% (3) クイズ:30% (4) 授業での積極的な学習態度:20% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	木曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級 I 漢字			
担当教員名	渡邊 佐智子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	中級レベル(日本語能力試験N3～N2レベル)の漢字を中心に, 学習者が生活の中で必要な漢字, 覚えておくくと便利な漢字が“使える”ようになるための基礎力を身につける。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
(1) PART I からPART4では, 漢字のどんなところに注目すれば新しい漢字や言葉を覚えやすくなるのかを, 練習問題を通してわかるようになる。				
(2) PART5は, 実践トレーニングで, 身近なものから情報を得る練習をする。				
(3) 毎回, 課題 (assignment) を出す。				
第1週	10/3	オリエンテーション, PART0		
第2週	10/10	PART I Step1		
第3週	10/17	PART I Step2		
第4週	10/24	PART2 Step1		
第5週	10/31	PART2 Step1 /Step2		
第6週	11/7	復習		
第7週	11/14	中間試験 (PART I ～PART2)		
第8週	11/21	PART3 Step1		
第9週	11/28	PART3 Step2		
第10週	12/5	PART3 Step3		
第11週	12/12	PART4 Step1 /Step2		
第12週	12/19	PART4 Step2		
第13週	1/9	PART5 Step1		
第14週	1/16	PART5 Step2		
第15週	1/23	復習		
第16週	2/6	期末試験 (PART3～PART5)		
教科書・教材等	『初級が終わったら始めよう にほんご漢字トレーニング』 (松浦真理子他, アスク出版, ISBN=978-4872177947, 1650円)			
成績評価の方法・基準等	(1) 授業への参加度 (出席・授業態度): 20% (2) 課題提出: 20% (3) 定期試験: 60% 注意: 授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由 (ex. 旅行, 家族訪問etc.) によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由 (ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表etc.) により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	火曜日・3校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本 裕美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	(1) 日常生活に関連する話題および身近で個人的に関心がある事について、楽に自信をもって積極的に話すことができる。(2) 予期しなかった状況や物語の内容などについて詳細に説明することができる。(3) カジュアルに話すためのルールを知り、それを使いながら日本語の雑談が友達とできる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
前半は、ロールプレイなどをおしてその場面に必要な表現を練習します。後半は、カジュアルな日本語で友だちと会話ができるようになるための練習をします。また、「分かっているけど間違える」ということを少なくし、スムーズに会話のやりとりをする力をつけるためにシャドーイングの練習もします。				
第1週	10/1	オリエンテーション		
第2週	10/8	きっかけについて分かりやすく説明する		
第3週	10/15	人の外見や物について詳しく描写する		
第4週	10/22	ハプニングについて詳しく説明する (1)、シャドーイングテスト (1)		
第5週	10/29	ハプニングについて詳しく説明する (2)		
第6週	11/12	ドラマ、映画、小説等の内容について詳しく説明する (1)		
第7週	11/19	ドラマ、映画、小説等の内容について詳しく説明する (2)		
第8週	11/26	社会的な話題を論理的に説明する、シャドーイングテスト (2)		
第9週	12/3	雑談:カジュアルに話す (1)		
第10週	12/10	〃 : カジュアルに話す (2)		
第11週	12/17	〃 : 上手にあいづちを使って聞き上手になる (1)		
第12週	12/24	〃 : 上手にあいづちを使って聞き上手になる (2)、シャドーイングテスト (3)		
第13週	1/7	〃 : 話し相手に共感を示しながら話す		
第14週	1/14	〃 : 不安や不満に思っていることを共有しながら話す		
第15週	1/28	〃 : 話す話題が見つからないときに対処する		
第16週	TBA	口頭試験、シャドーイングテスト (4)		
* 11/5 (火)は特別に月曜日の授業が行われるため、この授業はありません。				
* 1/21 (火)は共通テストに関わる休業日で、この授業はありません。				
教科書・教材等	配付資料			
成績評価の方法・基準等	(1) Voicethreadを使った独話練習(宿題):25% (2) シャドーイング(宿題・練習・テスト):25% (3) 授業での積極的な学習態度:45% (4) 口頭試験:5% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行、家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	金曜日・1校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	郭 昱昕 (GUO YUXIN)		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	アカデミック・ライティングにふさわしい文法や語彙表現を使い、構成を工夫し、独自性のある文章を書くことができるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
Step1でアカデミック・ライティングにふさわしいスタイルを、Step2で文章に関わる文法や語彙表現を、Step3で内容と構成を学びます。実例に基づいてわかりやすくまとまりのある文章を目指して練習を重ねていきます。				
第1週	10/4	オリエンテーション, 第1課 アカデミック・ライティングへの準備		
第2週	10/11	第2課 日本・日本人 Step1, Step2		
第3週	10/18	第2課 日本・日本人 Step3		
第4週	10/25	第3課 テクノロジー Step1		
第5週	11/1	第3課 テクノロジー Step2		
第6週	11/8	第3課 テクノロジー Step3		
第7週	11/15	第4課 教育 Step1		
第8週	11/22	第4課 教育 Step2		
第9週	11/29	第4課 教育 Step3		
第10週	12/6	第5課 ニュース Step1		
第11週	12/13	第5課 ニュース Step2		
第12週	12/20	第5課 ニュース Step3		
第13週	1/10	第6課 働き方 Step1		
第14週	1/24	第6課 働き方 Step2		
第15週	1/31	第6課 働き方 Step3		
教科書・教材等	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』 (伊集院郁子・高野愛子, アスク出版, ISBN=978-4-86639-360-5, 1,760円)			
成績評価の方法・基準等	(1) 出席・授業への参加度:30% (2) 宿題・ミニレポート:30% (3) 確認課題(中間レポート・期末レポート):20%×2回=40% (ChatGPT等生成系AIを使用した場合, 評価は与えられません) 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	木曜日3・4校時	コマ数	2コマ
授業科目	中級Ⅱ読解			
担当教員名	日暮 康晴	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	(1) 日本語の文章(日本語能力試験N2程度)を読んで, 論点や論理展開が把握できる (2) 日本語の文章(日本語能力試験N2程度)を読んで, 筆者の主張や意図が把握できる			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
		3校時	4校時	
第1週	10/3	オリエンテーション	オリエンテーション	
第2週	10/10	第1課	第1課	
第3週	10/17	第2課	第2課	
第4週	10/24	第3課	第3課	
第5週	10/31	第4課	第4課	
第6週	11/7	実力チェック	実力チェック(解説)	
第7週	11/14	第5課	第5課	
第8週	11/21	第6課	第6課	
第9週	11/28	第7課	第7課	
第10週	12/5	第8課	第8課	
第11週	12/12	実力チェック	実力チェック(解説)	
第12週	12/19	第9課	第9課	
第13週	1/9	第10課	第10課	
第14週	1/16	第11課	第11課	
第15週	1/23	実力チェック	実力チェック(解説)	
第16週	1/30	テスト	なし	
教科書・教材等	『読む力 中級』 (奥田純子(監修), くろしお出版, ISBN:978-4-87424-518-7, 1760円)			
成績評価の方法・基準等	(1) テスト:40% (2) 実力チェック:20% (3) 授業への参加度:20% (4) 宿題:20% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。 やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	水曜日・1校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解			
担当教員名	小谷 裕子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	日本の生活や文化を知ることができる話題の会話を当事者に「なりきって」聞くことで、能動的な聞く力を身につける。「聞く力」と同時に「聞き返す力」を伸ばすことで、コミュニケーション能力を高める。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
「傍聴型」ではなく、「参加型」の聴解クラスなので、積極的に発言することが求められる。毎回リスニングの課題を課し、翌週課題テストを実施する。				
第1週	10/2	オリエンテーション / ユニット1 はじまりは桜から		
第2週	10/9	ユニット2 食べる楽しみ		
第3週	10/16	(応用1) 食生活		
第4週	10/23	ユニット3 バイト体験		
第5週	10/30	ユニット4 結婚のお祝い		
第6週	11/6	(応用2) 結婚		
第7週	11/13	ユニット5 買う楽しみ		
第8週	11/27	ユニット6 旅する楽しみ		
第9週	12/4	(応用3) 旅行		
第10週	12/11	ユニット7 会社の話を聞く		
第11週	12/18	ユニット8 恋の話		
第12週	1/8	(応用4) 就職活動		
第13週	1/15	ユニット9 笑う楽しみ		
第14週	1/22	ユニット10 落語家にインタビュー		
第15週	1/29	(応用5) 総まとめ		
第16週	2/5	期末試験		
教科書・教材等	『中級から上級への日本語なりきりリスニング』 (鎌田 修他, ジャパンタイムズ出版, ISBN=978-4789015660, 3300円)			
成績評価の方法・基準等	(1) 授業への参加度:10% (2) 態度:10% (3) 課題テスト:40% (4) 期末試験:40% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。 やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	金曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ漢字			
担当教員名	川崎 加奈子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	今まで勉強した漢字を教科書に沿って復習・整理しながら、新しい漢字の読みや意味を理解し、場面や文脈に沿った適切な漢字語彙が使えるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
各課16～18字の新しい漢字を学びます。教科書各課の最初にある「覚える」の漢字を分担して予習し、各自で例文を作成してプレゼンをしてもらいます。プレゼンと質疑応答を通じて漢字の読みや意味・用法を確認した後、確認練習問題などで議論し、間違いやすいことばの使い分けを考えます。尚、進度は状況に応じて変わるため、テスト日程等はこの予定通りとならない場合があります。				
第1週	10/4	オリエンテーション、1課のプレゼンテーション例の紹介・「考えて使う」		
第2週	10/11	1課「覚える」の漢字プレゼンテーション、「確認問題」・「発展問題」		
第3週	10/18	3課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第4週	11/1	3課「覚える」の漢字プレゼンテーション「確認問題」・「考えて使う」		
第5週	11/8	3課「発展問題」、5課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第6週	11/15	5課「覚える」の漢字プレゼンテーション、「確認問題」・「考えて使う」		
第7週	11/22	テスト①、第5課「発展問題」		
第8週	11/29	7課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第9週	12/6	7課「覚える」の漢字プレゼンテーション、「確認問題」・「考えて使う」、		
第10週	12/13	7課「発展問題」、9課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第11週	12/20	9課「覚える」の漢字プレゼンテーション、「確認問題」		
第12週	1/10	9課「考えて使う」・「発展問題」		
第13週	1/24	11課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第14週	1/31	11課「覚える」の漢字プレゼンテーション、「確認問題」・「考えて使う」		
第15週	2/7	11課「発展問題」、復習テスト②		
教科書・教材等	『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙—上級編—』 (ハ木真生他、ココ出版、ISBN=978-4-904595-60-2、2200円)			
成績評価の方法・基準等	(1) テスト①:30% (2) テスト②:30% (3) 宿題完成度(プレゼン・問題予習):20% (4) 受講姿勢:10% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行、家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。 やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習、研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	月曜日・5校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】中級総合A（自由選択科目）		人数制限	あり（10名まで）
担当教員名	古本 裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	自分の出身地やその地の社会や文化に関する話題について、まとまった話ができる。			
授業概要／毎週の授業内容を含む				
授業では、スピーチでの話題構造（discourse structure）や語彙（vocabulary）を勉強します。その後、宿題として、毎週スピーチ原稿を書きます。担当教員に原稿をチェックしてもらってから、次の授業でスピーチをします。				
		授業前半	授業後半	宿題
第1週	9/30	オリエンテーション	「いいスピーチとは？」 第1課「まつり」クラス活動	第1課 スピーチ作成
第2週	10/7	第1課 発表	第2課「地理、民族、宗教」クラス活動	第2課 スピーチ作成
第3週	10/21	第2課 発表	第5課「歴史」クラス活動	第5課 スピーチ作成
第4週	10/28	第5課 発表	第6課「私の国と日本の関係」クラス活動	第6課 スピーチ作成
第5週	11/5（火）	第6課 発表	第7課「結婚」クラス活動	第7課 スピーチ作成
第6週	11/11	第7課 発表	第9課「経済と人々の生活」クラス活動	第9課 スピーチ作成
第7週	11/18	第9課 発表	前半の復習（1）	なし
第8週	11/25	前半の復習（2）	第10課「対比する」クラス活動	第10課 スピーチ作成
第9週	12/2	第10課 発表	第11課「因果関係1」クラス活動	第11課 スピーチ作成
第10週	12/9	第11課 発表	第12課「変化を説明する」クラス活動	第12課 スピーチ作成
第11週	12/16	第12課 発表	第13課「分析する」クラス活動	第13課 スピーチ作成
第12週	12/23	第13課 発表	第14課「因果関係2」クラス活動	第14課 スピーチ作成
第13週	1/6	第14課 発表	第15課「出来事を語る」クラス活動	第15課 スピーチ作成
第14週	1/20	第15課 発表	後半の復習（1）	なし
第15週	1/27	後半の復習（2）		
* 11/5（火）は特別に火曜日にこの授業があります。				
* 10/14（月）と11/13（月）は祝日のため、この授業はありません。				
教科書・教材等	『初級からのスピーチ：国・文化・社会についてまとまった話をするために』 （国際交流基金関西国際センター，凡人社，ISBN=978-4-89358-564-6，2310円）			
成績評価の方法・基準等	(1) スピーチ作成：40% (2) スピーチ発表：40% (3) 授業での積極的な学習態度：20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 （準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	金曜日・1校時, 2校時	コマ数	2コマ
授業科目	上級Ⅰ読解			
担当教員名	松尾 まゆ美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	意見文や説明文など, まとまった長さの文章を理解できる。また, 文意を捉えるだけではなく, 他者との意見交換をしながら思慮を深め, 日本語の表現力を高める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

意見文や説明文、またはグラフや資料などを見て内容を理解し、ペアワークやプレゼンテーションなどで意見や考えを共有する。

		1限目	2限目
第1週	10/4	オリエンテーション	Unit1「自己紹介と本当の自分」本文
第2週	10/11	Unit1「自己紹介と本当の自分」文型	Unit1「自己紹介と本当の自分」発展
第3週	10/18	Unit3「ジェンダーを考える」本文	Unit3「ジェンダーを考える」本文
第4週	10/25	Unit3「ジェンダーを考える」文型	Unit3「ジェンダーを考える」発展
第5週	11/1	Unit4「ことばと文化」本文	Unit4「ことばと文化」本文
第6週	11/8	Unit4「ことばと文化」文型	Unit4「ことばと文化」発展
第7週	11/15	Unit5「心と体のバランス」本文	Unit5「心と体のバランス」本文
第8週	11/22	Unit5「心と体のバランス」文型	Unit5「心と体のバランス」発展
第9週	11/29	プレゼンテーション①	プレゼンテーション①
第10週	12/6	Unit6「働くということ」本文	Unit6「働くということ」本文
第11週	12/13	Unit6「働くということ」文型	Unit6「働くということ」発展
第12週	12/20	Unit8「環境のためにできること」本文	Unit8「環境のためにできること」本文
第13週	1/10	Unit8「環境のためにできること」文型	Unit8「環境のためにできること」発展
第14週	1/24	Unit9「食の共同性」本文	Unit9「食の共同性」本文
第15週	1/31	プレゼンテーション②	プレゼンテーション②
第16週	2/7	期末試験	なし

教科書・教材等	『新中級から上級への日本語』 (鎌田 修他, The Japan Times, ISBN=978-4789014625, 3520円)
成績評価の方法・基準等	(1) 授業への参加度:10% (2) 提出物:10% (3) プレゼンテーション:40% (4) 小テスト:40% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。 やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2024年度 後期	曜日・校時	木曜日・3校時, 4校時		コマ数	2コマ
授業科目	上級Ⅰ 総合				
担当教員名	野田 智子		e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	構成を考えてまとまった文章が書けるようになり, 発表できるようになる。				
授業概要／毎週毎の授業内容を含む					
第1週	10/3	オリエンテーション PARTⅠ Lesson1	10/3	PARTⅠ Lesson2, グループ活動	
第2週	10/10	PARTⅠ Lesson3	10/10	PARTⅠ Lesson3グループ活動	
第3週	10/17	PARTⅡ Lesson1-1&2	10/17	PARTⅡ Lesson1-1&2グループ活動, 発表	
第4週	10/24	PARTⅡ Lesson2-1	10/24	PARTⅡ Lesson2-1グループ活動	
第5週	10/31	PARTⅡ Lesson2-2	10/31	PARTⅡ Lesson2-2グループ活動	
第6週	11/7	PARTⅡ Lesson3-3-1	11/7	PARTⅡ Lesson3-3-1グループ活動	
第7週	11/14	PARTⅡ Lesson3-3-2	11/14	PARTⅡ Lesson3-3-2グループ活動, 発表	
第8週	11/21	PARTⅡ Lesson3-4	11/21	PARTⅡ Lesson3-4グループ活動	
第9週	11/28	PARTⅡ Lesson3-5-1	11/28	PARTⅡ Lesson3-5-1グループ活動	
第10週	12/5	PARTⅡ Lesson3-5-2	12/5	PARTⅡ Lesson3-5-2グループ活動	
第11週	12/12	PARTⅡ Lesson3-5-3	12/12	PARTⅡ Lesson3-5-3グループ活動, 発表	
第12週	12/19	PARTⅡ Lesson4-1	12/19	PARTⅡ Lesson4-1グループ活動	
第13週	1/9	PARTⅡ Lesson4-2	1/9	PARTⅡ Lesson4-2グループ活動	
第14週	1/16	PARTⅢ Lesson1-1&2	1/16	PARTⅢ Lesson1-1&2グループ活動	
第15週	1/23	PARTⅢ Lesson1-4&5	1/23	PARTⅢ Lesson1-4&5, 発表	
教科書・教材等	『Good Writingへのパスポート 読み手と構成を意識した日本語ライティング』 (田中真理・阿部 新, くろしお出版, ISBN=978-4874246184, 2200円)				
成績評価の方法・基準等	(1) グループ活動への積極的な参加:10% (2) 作文:5回×10%=50% (3) 最後(6回目)の作文:20% (4) 発表:20% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。				
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp				
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。				

2024年度 後期	曜日・校時	金曜日・1校時, 2校時	コマ数	2コマ																																													
授業科目	上級Ⅱ総合A																																																
担当教員名	多田 美有紀		e-mail	授業初日に通知																																													
授業到達目標	コミュニケーションの本質を知り, 今までの自分のコミュニケーションの方法を分析するとともによりよいコミュニケーションの方法について考えられるようになる。																																																
授業概要／毎週毎の授業内容を含む																																																	
毎回, グループで分担して本を読んで, その部分の筆者の主張を説明してもらいます。その後, 扱ったテーマについて意見交換をし, 発表してもらいます。																																																	
<table><tr><td>第1週</td><td>10/4</td><td>はじめに, 第1章-1 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第2週</td><td>10/11</td><td>第1章-2 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第3週</td><td>10/18</td><td>第2章-1 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第4週</td><td>10/25</td><td>第2章-2 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第5週</td><td>11/1</td><td>第2章-3 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第6週</td><td>11/8</td><td>第2章-4 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第7週</td><td>11/15</td><td>第2章-5 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第8週</td><td>11/22</td><td>第3章-1 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第9週</td><td>11/29</td><td>第3章-2 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第10週</td><td>12/6</td><td>第3章-3 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第11週</td><td>12/13</td><td>第3章-4 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第12週</td><td>12/20</td><td>第3章-5 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第13週</td><td>1/10</td><td>第4章-1 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第14週</td><td>1/24</td><td>第4章-2 グループ読解, グループ発表</td></tr><tr><td>第15週</td><td>1/31</td><td>終章 グループ読解, グループ発表</td></tr></table>					第1週	10/4	はじめに, 第1章-1 グループ読解, グループ発表	第2週	10/11	第1章-2 グループ読解, グループ発表	第3週	10/18	第2章-1 グループ読解, グループ発表	第4週	10/25	第2章-2 グループ読解, グループ発表	第5週	11/1	第2章-3 グループ読解, グループ発表	第6週	11/8	第2章-4 グループ読解, グループ発表	第7週	11/15	第2章-5 グループ読解, グループ発表	第8週	11/22	第3章-1 グループ読解, グループ発表	第9週	11/29	第3章-2 グループ読解, グループ発表	第10週	12/6	第3章-3 グループ読解, グループ発表	第11週	12/13	第3章-4 グループ読解, グループ発表	第12週	12/20	第3章-5 グループ読解, グループ発表	第13週	1/10	第4章-1 グループ読解, グループ発表	第14週	1/24	第4章-2 グループ読解, グループ発表	第15週	1/31	終章 グループ読解, グループ発表
第1週	10/4	はじめに, 第1章-1 グループ読解, グループ発表																																															
第2週	10/11	第1章-2 グループ読解, グループ発表																																															
第3週	10/18	第2章-1 グループ読解, グループ発表																																															
第4週	10/25	第2章-2 グループ読解, グループ発表																																															
第5週	11/1	第2章-3 グループ読解, グループ発表																																															
第6週	11/8	第2章-4 グループ読解, グループ発表																																															
第7週	11/15	第2章-5 グループ読解, グループ発表																																															
第8週	11/22	第3章-1 グループ読解, グループ発表																																															
第9週	11/29	第3章-2 グループ読解, グループ発表																																															
第10週	12/6	第3章-3 グループ読解, グループ発表																																															
第11週	12/13	第3章-4 グループ読解, グループ発表																																															
第12週	12/20	第3章-5 グループ読解, グループ発表																																															
第13週	1/10	第4章-1 グループ読解, グループ発表																																															
第14週	1/24	第4章-2 グループ読解, グループ発表																																															
第15週	1/31	終章 グループ読解, グループ発表																																															
教科書・教材等	『「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか?—認知科学が教えるコミュニケーションの本質と解決策—』 (今井むつみ, 日経BP, ISBN=978-4296000951, 1870円)																																																
成績評価の方法・基準等	(1) 出席・授業態度:20% (2) グループ読解:30% (3) グループ発表:50% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。																																																
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp																																																
備考 (準備学習等)	授業中に資料の配布はしません。授業資料はLACSIにあるので, 授業の時, スマホ, タブレット, パソコンで入力してください。資料が紙でほしい場合は, 授業前にプリントアウトしてください。私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。※発表も同じルールです。																																																

2024年度 後期	曜日・校時	月曜日・1校時, 2校時	コマ数	2コマ
授業科目	上級Ⅱ総合B			
担当教員名	安田 真由美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本社会における格差問題を理解し、自分の国の状況と比較しながら、社会における格差の問題について話したり書いたりすることができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

- (1) 毎回、レジュメを作りながら読み進める。レジュメ作成は宿題とし、提出締め切りは、毎週日曜日の 23:59とする。
- (2) 授業の中では、1校時に内容の確認を行い、2校時にはその日のテーマに沿ったディスカッションを行う。
- (3) 授業開始4週目から、該当箇所の発表を行う。
- (4) 日本と自国の格差問題について比較し、1500字程度のレポートにまとめ、提出する。(締め切り:2月4日)
- ※受講者の状況によって、変更することがあります。変更する場合、授業開始後に連絡します。

週	日にち	内 容	宿題
第1週	9/30	オリエンテーション、レジュメの作り方	第1章1, 2, 3
第2週	10/7	第1章1, 2, 3	第1章 4, 5
第3週	10/21	第1章 4, 5	第2章1, 2
第4週	10/28	第2章1, 2	第2章3, 4
	11/5(火)	月曜日の授業、休講	—
第5週	11/9(土)	11月5日(火)の補講(Zoom)第2章3, 4	第3章1, 2
第6週	11/11	第3章1, 2	第3章3
	11/18	休講	—
第7週	11/25	第3章3	第3章4
第8週	12/2	第3章4	第3章5
第9週	12/9	第3章5	第4章1, 2
第10週	12/16	第4章1, 2	第4章3, 4, 5
第11週	12/23	第4章3, 4, 5	第5章1, 2
第12週	1/6	第5章1, 2	第5章3, 4
第13週	1/20	第5章3, 4	第5章5, 6
第14週	1/27	第5章5, 6	第5章7
第15週	2/3	第5章7	期末レポート作成

教科書・教材等	『格差社会—何が問題なのか—』 (橘木俊詔, 岩波新書, ISBN=978-4004310334, 924円)
成績評価の方法・基準等	(1) レジュメ提出:50% (2) 発表:20% (3) 期末レポート:15% (4) 参加度:15% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2024年度 後期	曜日・校時	水曜日・1校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本探究(日本の地理・歴史・政治)(選択必修科目)			
担当教員名	郭 昱昕(Guo Yuxin)		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 日本の地理, 歴史, 政治についての講義を聞き, 日本について知る。 (2) 自国と比較しながら理解を深めて, 自分の考えを整理する。 (3) ICTなどを使って, 日本語でプレゼンテーションや発表する。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
参考テキストの内容をピックアップして, 日本の地理, 歴史, 政治に関する話題を展開していきます。それぞれの話題への理解を深めるために, 自ら詳しく情報を調べて, 自分の考えをまとめる。さらに, その情報と自分の考えたことを発表する。				
第1週	10/2	オリエンテーション 日本の地理① 日本の自然		
第2週	10/9	日本の地理② 農耕生活と食文化		
第3週	10/16	日本の地理③ 日本の景色		
第4週	10/23	日本の地理④ 日本の災害		
第5週	10/30	日本の地理⑤ 発表Ⅰ		
第6週	11/6	日本の歴史① 原始と古代		
第7週	11/13	日本の歴史② 中世		
第8週	11/27	日本の歴史③ 近世		
第9週	12/4	日本の歴史④ 近代と現代		
第10週	12/11	日本の歴史⑤ 発表Ⅱ		
第11週	12/18	日本の政治① 「日本国」の仕組み		
第12週	1/8	日本の政治② 「政治」の流れ		
第13週	1/15	日本の政治③ 「日本経済」の歩み		
第14週	1/22	日本の政治④ 日本の「今」と「今後」		
第15週	1/29	日本の政治⑤ 発表Ⅲ		
教科書・教材等	参考:『世界の日本語学習者のための日本語教材日本という国』 (大森和夫・大森弘子編,朝日新聞出版,ISBN=978-4021003042,1474円) ＊必要に応じて,プリントを配布する。			
成績評価の方法・基準等	(1) 出席・授業態度:30% (2) 宿題・ミニレポート:25% (3) 発表&発表原稿の作成:15%×3回=45% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は,成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。 やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	火曜日・3校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本探究(日本の外交・安全保障)(選択必修科目)			
担当教員名	清田 智子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	日本の外交・安全保障に関する知識を身につけ、ニュースを理解し、自分の意見が言えるようにする。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
外交・安全保障について、日本で現在どのような議論が行われているのか講義する。学生はその論点を理解し、自分がどの意見に賛成するのか考えながらグループディスカッションに参加し、その中でどのような意見が出たか発表する。学生はできる限り毎日日本の外交や安全保障に関する報道をチェックし、講義やディスカッションに積極的に参加すること。				
第1週	10/1	オリエンテーション, 自己紹介		
第2週	10/8	日本の外交, 安全保障政策の決定過程, 日本の安全保障環境, 憲法9条等		
第3週	10/15	自衛隊, 日米同盟, 米軍基地, 集団的自衛権, 防衛予算		
第4週	10/22	日本の領土, 尖閣諸島, 竹島, 北方四島, 領土問題, 国連海洋法条約(UNCLOS)等		
第5週	10/29	台湾, シーレーン(SLOC)防衛, 南シナ海等		
第6週	11/12	北朝鮮, ミサイル・核開発, ミサイル防衛, 国連安全保障理事会(NUSC)等		
第7週	11/19	歴史問題, 靖国等		
第8週	11/26	FOIP, QUAD等		
第9週	12/3	ASEAN, 人権問題等		
第10週	12/10	難民, 移民等		
第11週	12/17	COVID-19感染症, ワクチン外交等		
第12週	12/24	経済安全保障, 制裁等		
第13週	1/7	エネルギー安全保障, 原子力エネルギー等		
第14週	1/14	まとめ		
第15週	1/28	プレゼンテーション		
教科書・教材等	教科書は特になし。参考書は『日本外交の論点』(佐藤史郎他(編著), 法律文化社, 2018, ISBN=978-4589039033, 2640円), 新聞やTVの報道等。			
成績評価の方法・基準等	(1) 小論文:40% (2) プレゼンテーション:29% (3) 講義の準備:26% (4) 出席:15% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	木曜日・1校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本探究(現代日本社会の諸相)(選択必修科目)			
担当教員名	日暮 康晴		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 現代日本社会に関わるさまざまな話題について、背景事情を含めて理解する。 (2) 自分のルーツの文化について、日本や他の文化と比較しながら紹介することができる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
第1週	10/3	オリエンテーション・日本に関する基礎知識の確認		
第2週	10/10	日本の街		
第3週	10/17	日本の家		
第4週	10/24	日本の食べ物①		
第5週	10/31	日本の食べ物②		
第6週	11/7	日本の宗教		
第7週	11/14	日本の教育①		
第8週	11/21	日本の教育②		
第9週	11/28	日本のエンターテインメント		
第10週	12/5	日本の社会問題①		
第11週	12/12	日本の社会問題②		
第12週	12/19	現代長崎の諸相		
第13週	1/9	最終発表説明・準備		
第14週	1/16	最終発表①		
第15週	1/23	最終発表②		
教科書・教材等	なし(授業内で資料などを適宜配布する)			
成績評価の方法・基準等	(1) 最終発表:40% (2) 授業への参加度:30% (3) 宿題:30% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	金曜日・3校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本探究(メディアで学ぶ日本の文化)(選択必修科目)			
担当教員名	永井 智香子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 日本の文化, 社会, 歴史などに関するさまざまな側面を紹介するテレビ番組を視聴する(10 分~20 分)ことを通じて日本について知る。 (2) (1)の活動を通じて日本語の語彙を増やす。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む 基本的に授業は次のように行う。 (1) 単語小テスト (2) 小発表 (3) その日のテーマについて話し合う (4) PPTを用いて, その日のテーマについて説明 (5) 主要語彙の確認 (6) ビデオの視聴 (7)ビデオの内容についての質問に答える				
第1週	10/4	オリエンテーション ウォーミングアップ		
第2週	10/11	温泉三昧		
第3週	10/18	小テスト 富士山に登った初めての女性 女人禁制		
第4週	10/25	小テスト 江戸時代の浮世絵画家 葛飾北斎		
第5週	11/1	小テスト 昭和の漫画の神様 手塚治虫		
第6週	11/8	小テスト アニメ作家 アニメ映画監督 宮崎駿		
第7週	11/15	小テスト オタク文化の聖地 東京の秋葉原		
第8週	11/22	小テスト 長崎映像の記録ー被爆70年を超えてー		
第9週	11/29	小テスト 京都の舞妓の紹介とその人生		
第10週	12/6	小テスト 懐石料理で究極のおもてなしをする料理人		
第11週	12/13	小テスト 和楽器		
第12週	12/20	小テスト 日本の正月とおせち料理		
第13週	1/10	小テスト 日本の方言と標準語		
第14週	1/24	小テスト ハワイの日系人 日本の移民について		
第15週	1/31	小テスト なかなか足を洗えない日本のヤクザ		
教科書・教材等	プリント教材			
成績評価の方法・基準等	(1) 小テスト:30% (2) 最終レポート:30% (3) 授業への取り組み:20% (4) 小発表:20% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は,成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	最終的なシラバスは授業初日にテキストとともに配布します。このシラバスは変更する可能性があります。私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により,テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが,日時の変更が認められた場合,点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	火曜日・5校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本の文化・社会・言語 I			
担当教員名	古本 裕美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	(1) プレゼンテーションツールを使って、自分の家族、趣味、休みの過ごし方などについて詳しく説明できる。(2) 自分の考えや意見を具体的な例とともに段落の長さで述べるができる。			
授業概要／毎週の授業内容を含む				
毎回2,3名ずつクラスメイトに教えたいことを見せ発表をします(Show & Tell)。その後、全員で、自分自身のこと、自分が住んでいる所のこと、社会問題などについてクラスメイトに説明したり、自分の意見を述べたりします。				
第1週	10/1	オリエンテーション、自己紹介、おしゃべり		
第2週	10/8	図書館ガイダンス@中央図書館別館2階 メディアルーム		
第3週	10/15	e-mailの書き方		
第4週	10/22	Show & Tell 1,「留学目的」について		
第5週	10/29	Show & Tell 2,「故郷」について (1)		
第6週	11/12	Show & Tell 3,「故郷」について (2)		
第7週	11/19	Show & Tell 4,「衣食住」について (1)		
第8週	11/26	Show & Tell 5,「衣食住」について (2)		
第9週	12/3	Show & Tell 6,「好きなドラマ・映画」について (1)		
第10週	12/10	Show & Tell 7,「好きなドラマ・映画」について (2)		
第11週	12/17	Show & Tell 8,「教育」について (1)		
第12週	12/24	Show & Tell 9,「教育」について (2)		
第13週	1/7	Show & Tell 10,「将来の夢」について		
第14週	1/14	Show & Tell 11,「印象に残ったニュース」について		
第15週	1/28	本科目のまとめ、おしゃべり		
* 11/5(火)は特別に月曜日の授業が行われるため、この授業はありません。				
* 1/21(火)は共通テストに関わる休業日で、この授業はありません。				
教科書・教材等	配付資料			
成績評価の方法・基準等	(1) Show & Tell:45% (発表者として36% + 聞き手として9%) (2) 図書館ガイダンス後の確認問題:10% (3) e-mailの宿題:10% (4) 授業での積極的な学習態度:35% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-200 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	火曜日・5校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本の文化・社会・言語 I			
担当教員名	郭 昱昕 (Guo Yuxin)		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 日本の文化, 社会, 言語についての講義を聞き, 日本について知る。 (2) 自国文化と比較しながら理解を深めて, 自分の考えを整理する。 (3) ICTなどを使って, 日本語でプレゼンテーションや発表する。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
テキストの内容をピックアップして, 日本の文化, 社会, 言語に関する話題を展開していきます。それぞれの話題への理解を深めるために, 自ら詳しく情報を調べて, 自分の考えをまとめる。さらに, その情報と自分の考えたことを発表する。				
第1週	10/1	オリエンテーション 日本の言語① 文字表記と「音」		
第2週	10/8	日本の言語② 日本語のバリエーション		
第3週	10/15	日本の言語③ 談話のレトリックと表現		
第4週	10/22	日本の言語④ 日本語の誤用		
第5週	10/29	日本の言語⑤ 発表 I		
第6週	11/12	日本の文化① 日本の伝統芸能		
第7週	11/19	日本の文化② 和食		
第8週	11/26	日本の文化③ 日本人のしきたり		
第9週	12/3	日本の文化④ 日本の文学		
第10週	12/10	日本の文化⑤ 発表 II		
第11週	12/17	日本の社会① 「日本」の姿		
第12週	12/24	日本の社会② 日本人の「行動様式」		
第13週	1/7	日本の社会③ 日本の社会問題①		
第14週	1/14	日本の社会④ 日本の社会問題②		
第15週	1/28	日本の社会⑤ 発表 III		
教科書・教材等	参考:『世界の日本語学習者のための日本語教材 日本という国』 (大森和夫・大森弘子, 朝日新聞出版, ISBN=978-4021003042, 1474円) ＊必要に応じて, プリントを配布する。			
成績評価の方法・基準等	(1) 出席・授業態度:30% (2) 宿題・ミニレポート:25% (3) 発表&発表原稿の作成:15%×3回=45% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-200 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。 やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	水曜日・4校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本の伝統文化（自由選択科目）		人数制限	あり（10名まで）
担当教員名	（主）古本 裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本の伝統文化についての講義を聞いたり体験したりすることにより、日本文化への理解を深める。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
		内容	場所	（担当教員）
第1週	10/2	オリエンテーション、講義1 長崎くんち	2番教室	（古本 裕美）
第2週	10/9	講義2 漫才	2番教室	（マヌー 島岡）
第3週	10/16	体験1 着付け	watoto（眼鏡橋近く）	（森 鈴香・竹内 智子）
第4週	10/23	講義3 水との暮らし in 長崎	2番教室	（野口 正人）
第5週	10/30	講義4 音の文化	2番教室	（後藤 信行）
第6週	11/6	講義5 剣道	2番教室	（古本 裕美）
第7週	11/13	体験2 和菓子（おはぎ）	葉國壘交流会館1階	（阿部 美和子）
第8週	11/27	体験3 書道	2番教室	（原口 朝美）
第9週	12/4	体験4 茶道	和室	（高木 裕子）
第10週	12/11	体験5 華道①	2番教室	（伊達木 百合子）
第11週	12/18	体験6 華道②	2番教室	（伊達木 百合子）
第12週	1/8	体験7 日本舞踊①	和室	（乗本 喜美子）
第13週	1/15	体験8 日本舞踊②	和室	（乗本 喜美子）
第14週	1/22	体験9 日本舞踊③	和室	（乗本 喜美子）
第15週	1/29	本科目のまとめと発表 発表：本科目で学んだ内容を一つ選び、 さらにそれについて調べたうえで発表する	2番教室	（古本 裕美）
●事前に授業に必要な物をみなさんのために購入します。休まないでください。				
●体調不良が原因で休む場合は、休むことを決め次第、主担当教員（古本）にメールを送ってください。				
●10/9（水）は先生とZoomでつないで「漫才」を習います。				
●10/16（水）の場所とその日に必要な服・靴は、後日知らせます。				
教科書・教材等	配付資料			
成績評価の方法・基準等	(1) 積極的な学習態度：50% (2) 授業後の振り返り記録：45% (3) 発表：5% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去および合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-200（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 （準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係：乗船実習、研究発表etc.）により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度 後期	曜日・校時	水曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】茶道（自由選択科目）		人数制限	あり（10名まで）
担当教員名	高木 裕子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	茶道を通して、日本の伝統文化を理解、知ろうとする心を育てる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

裏千家茶道の入門教養を通して、茶道の歴史、茶道具、そして掛け軸などについて学びます。抹茶の点て方、お菓子のいただき方、そして茶会について学び、裏千家茶道の基本的なマナーの習得を目指します。体験型の授業の為、10月27日（日）に授業を行いますので、日曜日に参加できる学生のみ申し込んでください。また12月18日（水）のクリスマス茶会への参加は必須です。

第1週	10/2	自己紹介,オリエンテーション,授業の準備について	
第2週	10/9	茶道の歴史について、お茶の飲み方、お菓子の食べ方	宿題①
第3週	10/23	軸について「和敬清寂」、茶会について	宿題②
第4週	10/27(日)	茶会体験（長崎市内で行われる茶会を体験。日本の庭や茶室で、本格的な茶会を体験します。）	
第5週	10時～13時		
第6週	10/30	軸について「一期一会」	宿題③
第7週	11/6	茶道具について	宿題④
第8週	11/13	クリスマス茶会について①	宿題⑤
第9週	11/20	クリスマス茶会について②,お手前総練習①	宿題⑥
第10週	11/27	クリスマス茶会について③,お手前総練習②	宿題⑦
第11週	12/4	クリスマス茶会について④,お手前総練習③	宿題⑧
第12週	12/11	クリスマス茶会の準備,お手前総練習④	宿題⑨
第13週	12/17(火)	クリスマス茶会の前日準備（10時～14時の間で事前準備に少しでも来ること）	
第14週	12/18	クリスマス茶会（長崎大学にて茶会をします。受講生は出席必須です。）	宿題⑩
第15週			

* 10/16(水)は休講です。11/20(水)に補講します。

* 10/27(日)にも授業があります。

* 予備日として1/8(水),1/15(水)を予定。

教科書・教材等	筆記用具。万が一オンライン授業になった場合は、自宅にある器、そしてお茶（種類は問わない）とお菓子（キャンディーやクッキー等）を各自準備すること。
成績評価の方法・基準等	(1) 宿題:10% (2) 授業への取り組み・態度:40% (3) 12月18日（水）のクリスマス茶会での取り組み参加:50% *クリスマス茶会への出席は必須 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。 やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2024年度 後期	曜日・校時	木曜日・5校時【すべてZoom授業】	コマ数	1コマ																																													
授業科目	【JLCP】日本文学A（自由選択科目）		人数制限	なし																																													
担当教員名	小橋 玲治		e-mail	授業初日に通知																																													
授業到達目標	授業で扱った日本の文学作品について、授業内容や方法を参考にしつつ、その作品の内容や要素に 対して根拠を伴った説明を一定分量以上の日本語による文章を執筆することができる。																																																
授業概要／毎週毎の授業内容を含む																																																	
長崎を舞台にした作品などを読んでいくことで、「土地」が文学作品と深く結びついている事例を取り上げ、日本近代文学にお いて舞台となった地がいかに重要なものであるかを学ぶ。																																																	
<table><tr><td>第1週</td><td>10/3</td><td>長崎が舞台となった文学作品</td></tr><tr><td>第2週</td><td>10/10</td><td>「鎖国」という制度：川合円『とつくとつか―幕末通訳 森山栄之助―』</td></tr><tr><td>第3週</td><td>10/17</td><td>文学作品と「土地」：島崎藤村『破戒』の場合</td></tr><tr><td>第4週</td><td>10/24</td><td>ピエール・ロチ『お菊さん』（1）</td></tr><tr><td>第5週</td><td>10/31</td><td>ピエール・ロチ『お菊さん』（2）、オペラ『蝶々夫人』</td></tr><tr><td>第6週</td><td>11/7</td><td>芥川龍之介「奉教人の死」（1）</td></tr><tr><td>第7週</td><td>11/14</td><td>芥川龍之介「奉教人の死」（2）</td></tr><tr><td>第8週</td><td>11/21</td><td>長崎に赴任した歌人・斎藤茂吉</td></tr><tr><td>第9週</td><td>11/28</td><td>「聖地巡礼」について</td></tr><tr><td>第10週</td><td>12/5</td><td>織田作之助「旅への誘い」から「姉妹」への改作</td></tr><tr><td>第11週</td><td>12/12</td><td>織田作之助と南方派遣日本語教員：遠藤周作『女の一生』</td></tr><tr><td>第12週</td><td>12/19</td><td>藤子不二雄による文学作品の漫画化：「少年船長」の場合</td></tr><tr><td>第13週</td><td>1/9</td><td>カズオ・イシグロ『遠い山なみの光』</td></tr><tr><td>第14週</td><td>1/16</td><td>長崎を舞台にしたミステリー作品</td></tr><tr><td>第15週</td><td>1/23</td><td>まとめ</td></tr></table>					第1週	10/3	長崎が舞台となった文学作品	第2週	10/10	「鎖国」という制度：川合円『とつくとつか―幕末通訳 森山栄之助―』	第3週	10/17	文学作品と「土地」：島崎藤村『破戒』の場合	第4週	10/24	ピエール・ロチ『お菊さん』（1）	第5週	10/31	ピエール・ロチ『お菊さん』（2）、オペラ『蝶々夫人』	第6週	11/7	芥川龍之介「奉教人の死」（1）	第7週	11/14	芥川龍之介「奉教人の死」（2）	第8週	11/21	長崎に赴任した歌人・斎藤茂吉	第9週	11/28	「聖地巡礼」について	第10週	12/5	織田作之助「旅への誘い」から「姉妹」への改作	第11週	12/12	織田作之助と南方派遣日本語教員：遠藤周作『女の一生』	第12週	12/19	藤子不二雄による文学作品の漫画化：「少年船長」の場合	第13週	1/9	カズオ・イシグロ『遠い山なみの光』	第14週	1/16	長崎を舞台にしたミステリー作品	第15週	1/23	まとめ
第1週	10/3	長崎が舞台となった文学作品																																															
第2週	10/10	「鎖国」という制度：川合円『とつくとつか―幕末通訳 森山栄之助―』																																															
第3週	10/17	文学作品と「土地」：島崎藤村『破戒』の場合																																															
第4週	10/24	ピエール・ロチ『お菊さん』（1）																																															
第5週	10/31	ピエール・ロチ『お菊さん』（2）、オペラ『蝶々夫人』																																															
第6週	11/7	芥川龍之介「奉教人の死」（1）																																															
第7週	11/14	芥川龍之介「奉教人の死」（2）																																															
第8週	11/21	長崎に赴任した歌人・斎藤茂吉																																															
第9週	11/28	「聖地巡礼」について																																															
第10週	12/5	織田作之助「旅への誘い」から「姉妹」への改作																																															
第11週	12/12	織田作之助と南方派遣日本語教員：遠藤周作『女の一生』																																															
第12週	12/19	藤子不二雄による文学作品の漫画化：「少年船長」の場合																																															
第13週	1/9	カズオ・イシグロ『遠い山なみの光』																																															
第14週	1/16	長崎を舞台にしたミステリー作品																																															
第15週	1/23	まとめ																																															
教科書・教材等	授業ごとに配布する。																																																
成績評価の方法・基準等	(1) 出席時に行う課題：40% (2) レポート：60% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に 達しない場合は、成績評価は与えられません。																																																
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さ い。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-200 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp																																																
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行、家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めな い。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係：乗船実習、研究発表etc.)により、 テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点 数は獲得点数の90%となる。																																																

2024年度 後期	曜日・校時	金曜日・5校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本のアニメ（自由選択科目）		人数制限	なし
担当教員名	山田 健太郎		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 日本のアニメの歴史についての基礎的な知識をみにつける。 (2) 日本のアニメの特徴の基礎的な知識をみにつける。			
授業概要／毎週の授業内容を含む				
最初に、アニメーション表現の基本的な仕組みを説明し、そのあと、日本アニメがどのように展開してきたのかを説明する。毎回具体的な作品を取り上げ、その当時の日本社会や、その作品・作家の背景との関連も説明しながら、作品の特徴について検討する。最終回はグループに分かれて、選んだアニメについて発表を行うことで、主体的な学びの要素を取り入れる。				
第1週	10/4	オリエンテーション・アニメとは何か・日本アニメのはじまり		
第2週	10/11	手塚治虫と『鉄腕アトム』		
第3週	10/18	1960年代のアニメブーム		
第4週	10/25	『ドラえもん』		
第5週	11/1	2つめのアニメブーム 宇宙戦艦大和からガンダムへ		
第6週	11/8	『アンパンマン』の世界		
第7週	11/15	『アキラ』と表現の革新		
第8週	11/22	『セーラームーン』現象		
第9週	11/29	『ポケットモンスター』とメディアミックス		
第10週	12/6	『新世紀エヴァンゲリオン』		
第11週	12/13	宮崎駿とトトロの世界		
第12週	12/20	アニメーター大塚康生がつなぐアニメの世界		
第13週	1/10	細田守の世界		
第14週	1/24	アニメと翻訳		
第15週	1/31	グループ・プレゼンテーション「わたしたちの推しアニメ!」		
教科書・教材等	プリントを配布する。			
成績評価の方法・基準等	(1) 毎回の授業のリアクション・ペーパーとまとめレポート (授業後にLACSに提出。欠席した授業については提出できません):50% (2) 確認小テスト:15% (3) 最終回の授業でのプレゼンテーション:20% (4) 最終レポート:15% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。提出物は締め切りを厳守してください。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-200 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

留学生教育・支援センターで開講されている 日本語プログラムでの各クラスのレベルについて

クラス名	レベ ル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	日本語教育の 参照枠
初級Ⅰ	初級前半	初歩的な文法・漢字(100 字程度)語彙(800 語程度)を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1
初級Ⅱ	初級後半	基本的な文法・漢字(300 字程度)語彙(1,500 語程度)を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2
中級Ⅰ	中級前半	基本文法の応用ができ、漢字(700 字程度)語彙(3,500 語程度)を習得し、一般的なことから、日常的な話題について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級Ⅱ	中級後半	やや高度な文法・漢字(1000 字程度)語彙(6,000 語程度)を習得し、少し高度な一般的なことから、日常的な話題について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級Ⅰ	上級前半	高度な文法・漢字(1,500 字程度)語彙(8,000 語程度)を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。	N1	B2
上級Ⅱ	上級後半	高度な文法・漢字(2,000 字程度)語彙(10,000 語以上)を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。		C1

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ (5 単位, 週 5 コマ)	中級Ⅰ 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級Ⅰ 読解 (2 単位, 週 2 コマ)
初級Ⅱ (5 単位, 週 5 コマ)	中級Ⅰ 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅰ 総合 (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅰ 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ 総合 A (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅰ 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ 総合 B (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅰ 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ 総合 C (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅱ 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級Ⅱ 総合 D (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅱ 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座 (1 単位, 週 1 コマ)
	中級Ⅱ 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級Ⅱ 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級Ⅱ 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 A (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 B (1 単位, 週 1 コマ)	

*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。